

読

Yomiuri
Nippon
Symphony
Orchestra

響

ベルリオーズ:序曲「ローマの謝肉祭」作品9
BERLIOZ: Overture "Le carnaval romain", op.9
サン=サーンス:チェロ協奏曲 第1番 短調 作品33
SAINT-SAËNS: Cello Concerto No.1 in A minor, op.33
ベルリオーズ:幻想交響曲 作品14
BERLIOZ: Symphonie fantastique, op.14

指揮 **小林研一郎** 特別客演指揮者
Conductor KENICHIRO KOBAYASHI
チェロ **遠藤真理**
Cello MARI ENDO
コンサートマスター **小森谷巧**
Concertmaster
TAKUMI KOMORIYA



そこに音楽があるかぎり。 コバケンの 幻想交響曲

降りて来い、作曲家たちよ。

読売日本交響楽団 第3回 読響メトロポリタン・シリーズ
2013年 **10月17日**(木) 19時開演
東京芸術劇場コンサートホール
S ¥7,000 A ¥5,000 B ¥4,000 C ¥3,000
The 3rd Yomikyo Metropolitan Series
Thu. 17th October 7p.m. Tokyo Metropolitan Theatre
主催: 読売新聞社、日本テレビ放送網、読売テレビ、読売日本交響楽団 事業提携: 東京芸術劇場
お申し込み・お問い合わせ:
読響チケットセンター **0570-00-4390** 10時-18時
年中無休
<http://yomikyo.or.jp/>



©読響

指揮 小林研一郎

Conductor KEN-ICHIRO KOBAYASHI

「コバケン」の愛称で親しまれている世界的指揮者。2011年8月より、読響の特別客演指揮者を務めている。

東京芸術大学作曲科および指揮科を卒業。第1回ブダペスト国際指揮者コンクール第1位、特別賞を受賞。世界中の数多くの音楽祭出演のほか、欧州のオーケストラを多数指揮。ハンガリー国立響の音楽総監督をはじめ、日本フィル音楽

監督など国内外の数々のオーケストラのポジションを歴任。現在、ハンガリー国立フィル、日本フィルおよび名古屋フィルの桂冠指揮者、九州響の首席客演指揮者、東京芸術大学、東京音楽大学およびリスト音楽院(ハンガリー)名誉教授。東京文化会館音楽監督。

本年4月の読響定期演奏会で大喝采を受けた「我が祖国(全曲)」の演奏(ライブ録音)は、オクタヴィア・レコードからリリースされ好評を博している。国内外のオーケストラへの客演も数多く、現在最も活躍し注目されている指揮者である。

チェロ 遠藤真理

Cello MARI ENDO

ブラハム、ウィーン室内管とも共演する実力派チェリスト。

2003年日本音楽コンクール優勝、06年「プラハの春」国際コンクールにて第3位(1位なし)、08年マイナルティ国際コンクールにて第2位、09年齋藤秀雄メモリアル基金賞受賞。ドイツ・キウムガウ春の音楽祭でアンサンブル・ラロと、ザルツブルクにてザルツブルク・ソリストと共演するなど、室内楽でも国際的に活躍。10年にはNHK大河ドラマ「龍馬伝」にて「龍馬伝記行」のテーマ曲を演奏。小林&読響とは昨年福岡でのドヴォルザークでも名技を魅せ好評を博した。



©山崎光

コバケンが描く、 若きベルリオースの 恋と芸術の世界

片桐卓也(音楽ライター)

19世紀初頭のフランス音楽界に突然現れた鬼才、それがベルリオースだった。それまでの交響曲の枠組みを大きく逸脱するような独創的な彼の作品「幻想交響曲」が初演された時、ベルリオースはまだ26歳だった。恋と芸術、そして失恋と妄想。そんな様々なエピソードに彩られたこの傑作は、初演後も演奏され続け、多くの19世紀の作曲家に影響を与え、21世紀でも人気曲として定着している。細部まで若き芸術家の想いが詰まったその交響曲を、炎の指揮者コバケンこと小林研一郎はどう再現するだろうか? ベルリオースはこの斬新な交響曲を書く前に、ベートーヴェンの交響曲の演奏を聴き、大きな啓示を受けたことが知られている。ベートーヴェンにも造詣の深い小林のこと、ベートーヴェンに大きな影響を受けていたベルリオース作品にも、新たな視点からの切り口を見つけてくれるであろう。

その「幻想」の前には、新鋭チェリスト・遠藤真理を迎えてのサン=サーンスのチェロ協奏曲第1番が演奏される。遠藤は日本音楽コンクールで第1位を獲得し、海外でも積極的に演奏活動を展開している。サン=サーンスの第1番の協奏曲はすでに録音も行っており、彼女にとっての大事な作品でもある。フランスのロマン主義の香しい魅力を持つこの作品で、再び彼女の美しいチェロの響きを聴くことが出来るのが楽しみだ。もちろんサポートするコバケンの大人の魅力もそこで感じる事が出来るだろう。

冒頭にはやはりベルリオースの序曲「ローマの謝肉祭」。失敗に終わったと言われるオペラの素材を使った管弦楽曲である。ローマへの留学経験もあるベルリオースにとって、ローマのにぎわい、謝肉祭の雰囲気もよく分かっていたはず。明るい雰囲気がまさにコンサートの開幕にぴったりで、ベルリオースの個性もよく分かる秀逸な管弦楽曲である。

2013
10月17日(木) 19時開演

好評
発売中

<読売日本交響楽団 第3回 読響メトロポリタン・シリーズ>

東京芸術劇場コンサートホール

料金 S ¥7,000 A ¥5,000 B ¥4,000 C ¥3,000

東京都豊島区西池袋1-8-1 Tel. 03-5391-2111(代表)

池袋駅西口より徒歩約2分(駅地下通路2b出口と直結しています。)

【観覧料】 東京芸術劇場には一時託児施設があります。芸術キッズルーム muse(ミュージズ) 03-3981-7003

【学生券】 学生の方は、開演15分前に残席がある場合、¥2,000で入場できます(要学生証)。ただし席を譲ることはできません。開演1時間前から受付で整理券を配布します。

【団体割引】 読響チケットセンターにて同一公演の1回券を10枚以上まとめてお求めになった方に団体割引をいたします。

■都合により曲目、出演者等が一部変更される場合もございます。あらかじめご了承ください。

■未就学児の入場は、固くお断りいたします。

読響チケットセンター

0570-00-4390 (10:00-18:00)
年中無休

読響チケットWEB

<http://yomikyo.pia.jp/>

*座席をお選びいただけます。
*ご郵送の場合、送料は無料です。

前売所 チケットぴあ 0570-02-9999

東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296

イープラス <http://eplus.jp/>